



広徳寺通信

89号

Sweet Amulet さんがお盆のお寺参りのお土産におじぞうさまのクッキーをつくってくれました！ありがたいきもちになりました。

先祖からさずかったものは、私たち一代で終わりではありません。たとえ私のあと子どももなく、私が血縁者の最後の一人だったとしても、先祖からさずかったこの大地、この川、この山、この空は、すべての子どもたちが受け取っていくもの。アメリカの先住民族は「子どもたちから土地を借りる」と言いました。お金を買って手に入れたものはワタシのもの、お金を払って建てたからこの土地はワタシのもの、ではなく、私の死んだ後に使用する誰か、未来の子どもたちのことを思えば、できるだけ美しい状態で残してあげたい。

未来の人々は私のことをどのように記憶するでしょうか。どのように記憶されたいでしょうか。「よき先祖となる」ために、私にできることはなんだろう。私もまた一人の先祖だと思えば、自然環境への物の見方が、あるいは生き方が変わってくるに違いはないと思うのです。合掌。

われわれ **我々は先祖から土地を受け継ぐのではない**  
子どもたちから土地を借りるのだ

(アパッチ族の格言)

Letter from Koutokujji Temple

Since 1736

発行元 曹洞宗慈眼山広徳寺  
令和三年十月一日発行



本堂で宝探しも楽しみました！



裏庭のおじぞうさんも見守ります



寺こやで小学生が集まり栗拾いをしました

9月の末、彼岸に入る頃からもう栗の木からぼろぼろと栗の実が落ちてきました。温暖化の影響か、例年より早いように思います。例年、住職がせっせと拾い湯煎して皮をまたせっせと住職はむいていきます。住職は何事もたんだんと、そしてせっせと誰に何を言うこともなく行きます。栗の皮むきも(硬い皮ですからたいへんでしょうが)丁寧にも最後の最後のお寺参りのお齋(とき)やお弁当で栗ご飯にしてお檀家の皆さんに食べてもらいます。

それが嬉しくてせっせと拾い、むくのでしょ。炊いた栗はホクホクあまく、おいしい。栗を拾うという楽しみもあります。足で踏みつけイガを割り、トゲがさらないように注意しながら中の栗をつまみ出す。栗の木の周りに散らばった茶色の実はまだで宝石のようで、胸がわくわくするのを抑えて探し回る。どなたにもそういう幼少の記憶があると思います。去年から、寺こやのメンバーに声をかけ、小学生と保護者対象に、栗拾いのささやかなイベントを行っています。今年も23人の子どもたちが集まり栗拾いを楽しみました。子どもはもちろん、お父さんお母さんも目を輝かせながら歓声をあげ、拾い集める様子はほほえましい。子どもの頃の自分と今の自分が重なるのでしょうか。

お寺には、特別な時間軸があるようです。忘れていたものを思い出す、そういう時間の流れが。それは「死んでそれでおしまい」という時間ではなくもっと長い時間の長さで私たちは生きているんだという気づきを与えてくれる。

栗拾いをしていて印象的だったのは、歓声をあげる親子の頭上で栗の木が風に揺られ葉音をさらさらと奏でていたことです。

大きな栗の木の下ではどんな命も尊く、永遠という響きをもつのだろうと。そのように感じた秋の午後でした。



栗拾いの動画はコチラから。

ばいかりゅうえいさんか  
**梅花流詠讚歌**  
土曜日 / 月2回程  
懐かしいしらの御詠歌をお唱えしませんか？

あさ **朝のお勤め** 毎朝6時40分 / 予約不要  
早朝の本堂で15分のお参り。手ぶらでお越し下さい。

① ② ③  
ココラで朝のお勤めをご覧ください！

(9月の週末の朝のお勤めの様子を動画で撮影しました)  
新型コロナウイルス感染防止対策として、行事の参加にはマスクの着用・手指の消毒をお勧めしております。各行事は十分な換気・ソーシャルディスタンスを考慮した内容としております。体調不調ある方は行事の参加をお控えください。感染状況を鑑みて行事を中止する場合がございます。

寺こや  
子どもが子どもらしく遊び学べる場所を。  
境内で遊ぶ日時のご連絡をしますので、ご希望の方はこちらからご登録ください。

寺 **お寺でボディメイク** 10月9日 11月6日  
かんたん体操してみませんか？講師は水戸麻衣子先生です！  
参加費 1,000円 (割引有) 土曜日夜6時半  
※予約制ですのでお電話下さい。(73-2032)



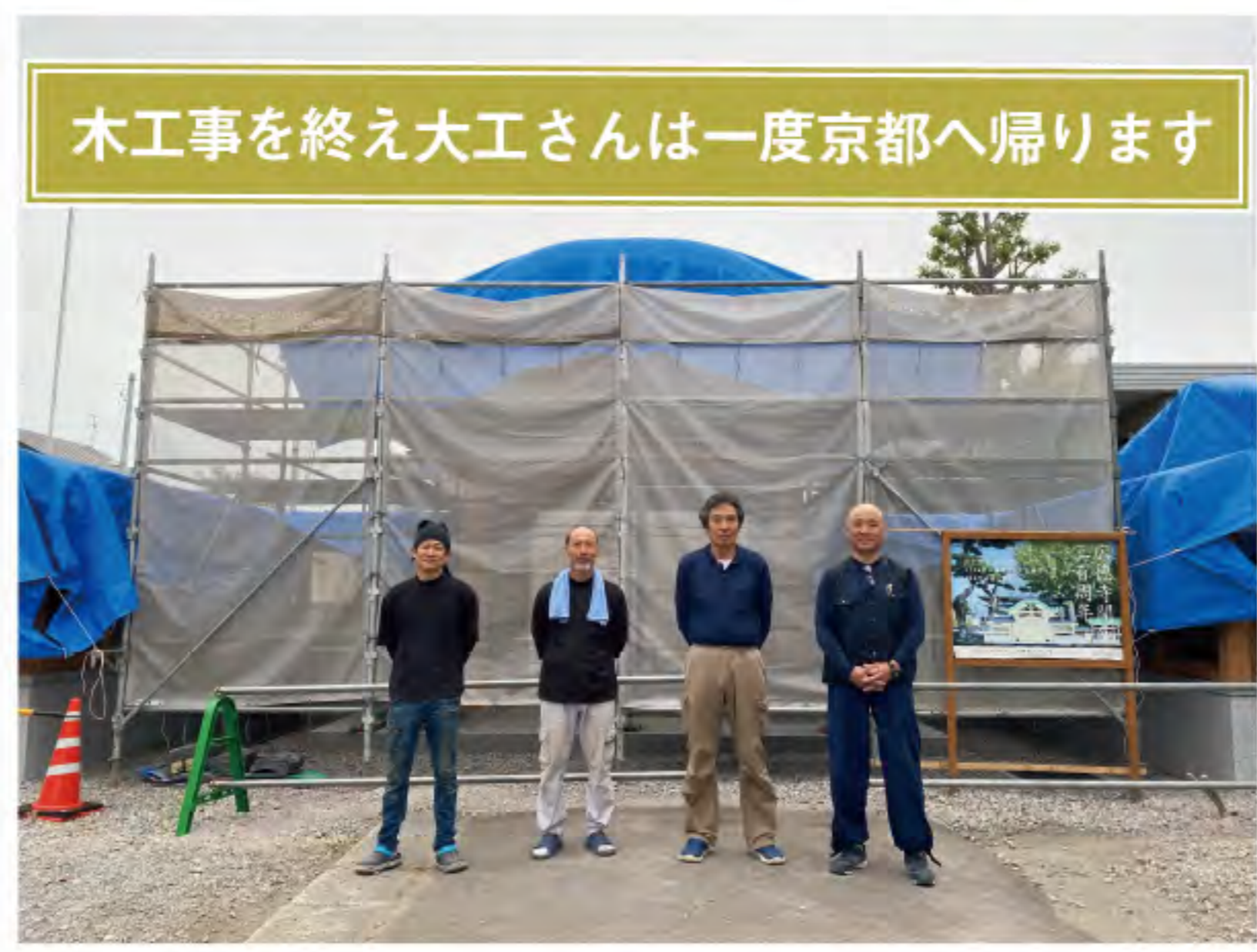
9月5日(日)山門上棟式がお勤めされました。本来、お檀家の皆さまにご案内すべきところではありますが、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、役員・成年会婦人会・梅花講のみでお勤めさせていただきました。式では御詠歌、大般若の御祈禱が行われた後、宮大工さんたちによる儀礼がありました。めったに見ることのできな

いものでしたので、動画撮影しましたのでどうぞご覧ください!下のQRコードをスマホにかざしていただくか、インターネットで「広徳寺 山門上棟式」と検索ください。



現代仏教僧を代表する松本紹圭さんが広徳寺を訪れてくれました。切れ味のよい新鮮な語り口で仏教にアプローチする数少ない僧侶の一人です。以前からお会いしたいと思っていましたが、ご縁にご縁が重なり、2時間ばかり本堂にて贅沢な時間を一緒に過ごすことができました。お話の様子は「テンプルモーニングラジオ」というポッドキャスト(スマホ)でお聞きいただけます!

月一回、広徳寺を会場に地域食堂まんまるのフードパントリーがあります。檀家さんより地域のためにと清々しいご寄付を頂いています。特に、今回は島津清美さん島津正勝さん高橋明子からお米を、吉田武司さん藤田正裕さんから定期的なお野菜を、高谷容子さん五味繁之よりお菓子や飲み物を頂いています。ありがとうございます!



松本紹圭さんの著作

「短期思考」から「長期思考」へ



お檀家の木村正直さん夫妻と平野明美さんが広徳寺の清掃をしてくださっています。いつも細かなところまでコツコツと。ほんとうに頭が下がります。木村さんは境内や裏庭、墓地の清掃を、平野明美さんはお寺の中を掃除してくださっています。喜びをもってする姿をみていると、心も一緒にきれいになるようです。



9月23日(祝・木)にペット供養合同慰霊祭。3年連続の雨模様で本堂でのお勤めでした。15人ほどのお参りの方は心静かに亡き家族のことを思い出しながら手を合わせていましたよ。午後は秋らしい晴空となり、秋彼岸会のご供養をお勤めしました。上棟式にお参りいただけなかったお檀家さんと、手作りの赤飯が振る舞われました。右のピンク色のQRコードにスマホをかざすと、ご詠歌のお唱えを聞くことができますよ!

福島功紀さんが実家に戻りました  
2年半お勤めいただいた福島功紀さんが広徳寺でのお勤めを終え、実家のお寺に戻りました。お参りも作務(お掃除)も常にたんたんとして心こめていただきました。ありがとうございました!しばらくは、住職と副住職とでお勤めしてまいりますので、宜しくお願い致します。

8月13日(金)のお盆のお墓経では董元(長男・9歳)も未熟ながらお勤めさせていただきました。暖かく見守りくださりありがとうございます。また、8月18日(水)に盂蘭盆会(お盆のお寺参り)がお勤めされました。海野義範説教師さんから「合掌とは、右のてのひらの仏と左のてのひらの私がぴったりと合わさること」というお話いただきました。終わって、水塔婆を海に流し、ご先祖さまをお見送りしました。



お寺修行カレーお代わり!

北 斗

2021年(令和3年)8月20日(金曜日)

カレーもおいしかったよ!